MITSUBISHI ELECTRIC

三菱電機パッケージエアコン　4方向カセットEタイプ用

ワイヤレスリモコンキット

PAR－SK3TA（操作部＋受光部キット）

据付工事説明書

この据付工事説明書は三菱電機パッケージエアコン４方向カセットＥタイプ用ワイヤレスリモコンキットの据付工事について記載しております。よくお読みのうえ、正しく据付けてください。
本文中にスリムエアコン・マルチエアコンの表記がありますがスリムKはマルチエアコンに含まれます。マルチエアコンの記載内容を参照してください。

1 安全のために必ず守ること

- 据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷等などに結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財等などの損害に結びつくもの。

- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法・お手入れの仕方等を説明してください。また、この据付工事説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

⚠警告

改造は、絶対にしない。
- 修理は、お買上げの販売店にご相談ください。改造したり修理に不備があると水漏れや感電・火災等の原因になります。

お客様自身で移動・再据付けはしない。
- 据付けに不備があると水漏れや感電・火災等の原因になります。お買上げの販売店または専門業者にご依頼ください。

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付けは、質量に十分に耐えるところに確実に行う。
- 強度が不足している場合は、ユニットの落下などにより、事故の原因になります。

配線は所定のリモコンコードを使用して確実に接続し、端子接続部にリモコンコードの外力が伝わらないように固定する。また、途中接続は絶対に行わない。
- 接続や固定が不完全の場合や、途中接続の場合は、発熱・火災等の原因になります。

据付工事は、この据付工事説明書に従い確実に行う。
- 据付工事に不備があると、感電・火災等の原因になります。

電気工事は、電気工事士の資格ある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧・ブレーカーを使用する。
- 電源回路容量不足や施工不備があると感電・火災等の原因になります。

⚠注意

可燃性ガスの発生・流入・滞留・洩れのおそれがある場所へは据付けない。
- 万一ガスがユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になります。

次の場所への据付けは、避ける。
- 可燃性ガスの洩れるおそれのあるところ
- 硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリ等、機器に影響する物質の発生するところ
- 機械油を使用するところ
- 車両・船舶などを移動するものへの設置
- 高周波を発生する機械を使用するところ
- 化粧品・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ
- 海浜地区等塩分の多いところ
- 積雪の多いところ

- 性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする原因になります。

濡れた手でボタンを操作しない。
- 感電・故障の原因になります。

ボタンを先のとがった物で押さない。
- 感電・故障の原因になります。

電源配線は、張力が掛からないように配線工事をする。
- 断線したり、発熱・火災等の原因になります。

浴室・厨房など大量の湯気が発生するところには据付けない。
- 壁が結露するような場所は避けてください。感電・故障の原因になります。

基板を手や工具などで触ったり、ほこりを付着させない。
- 火災・故障の原因になります。

本製品を水洗いしない。
- 感電・故障の原因になります。

AC100VやAC200Vは絶対に印加しない。
- 破壊・発火・火災の原因になります。

製品の運搬・据付けは十分注意して行う。
- 原則として2人以上で行ってください。PPバンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないでください。素手で部品端面やフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。

病院・通信事務所などに据付けされる場合は、ノイズに対する備えを十分に行う。
- インバータ機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器の影響によるエアコンの誤動作や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え、人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音などの弊害の原因になります。

2 部品確認

箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますのでご確認ください。

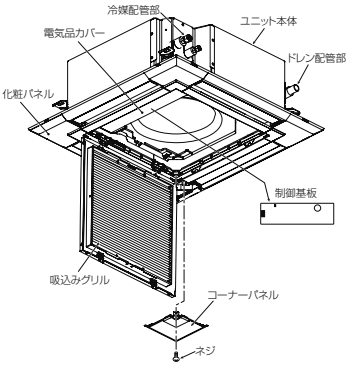
品名	① ワイヤレスリモコン受光部	② ワイヤレスリモコン操作部	③ リモコンホルダー	④ 単４形乾電池	⑤ タッピンネジ
個数	1	1	1	2	2
形状					

3 取付方法

1. ワイヤレスリモコン受光部取付前の準備

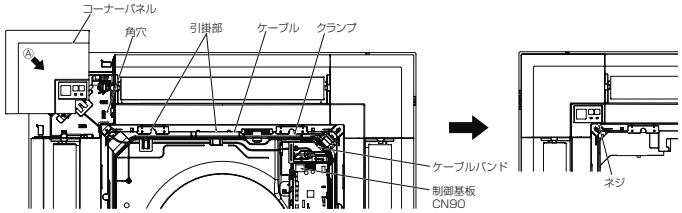
※作業前に必ず元電源を切ってください。

- 吸込グリルを開き冷媒配管部（現地配線取入部）コーナーと対角側のコーナーパネルを外します。
  ※外したコーナーパネルは廃棄してください。
  ※コーナーパネル固定ネジは、ワイヤレスリモコン受光部取付時に流用します。
  ※化粧パネルの据付中に作業する場合は、化粧パネルの配線接続完了後に下記作業をしてください。
- 電気品カバーを固定しているネジ２本をゆるめ、電気品カバーをスライドさせて取外します。（仮掛け可能）



2. ワイヤレスリモコン受光部の取付

①1. で取外したコーナーパネルの部分の化粧パネルのコーナー部の角穴からワイヤレスリモコン受光部のケーブルを引き出します。
②下図のようにケーブルをユニット本体の引掛け部（２カ所）と電気品箱内に通し、コネクタを制御基板の CN90 に接続します。
再度、コーナーパネルが外せる程度にケーブルの長さを調節し、ケーブルバンドで固定します。
③ワイヤレスリモコン受光部のコーナーパネルを下図のように矢印Ⓐの方向にスライドし、コーナー部のネジを固定します。
（ネジは化粧パネルのコーナーパネル固定ネジを流用します）

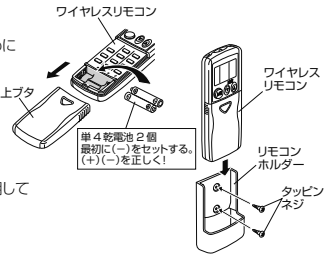


④ワイヤレスリモコン受光部の取付完了後、ユニット本体の電気品カバーを元通りに取付けます。

3. リモコンホルダー

■リモコンホルダーを付属しております。紛失などを防ぐためにご使用ください。
■ワイヤレスリモコンは下記の場所に取付けてください。
- 直射日光の当たらない場所
- 近くに熱源のない場所
- ユニットからの冷風（または温風）が当たらない場所
- リモコンの操作が容易で、表示部がよく見える場所
- 幼児の手が届かない場所

■ワイヤレスリモコンの取付けは、付属のタッピンネジを使用してリモコンホルダーを壁面に固定した後に、ワイヤレスリモコンをリモコンホルダーにはめ込みます。



お　願　い

- 付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光のあたる場所には取付けないでください。変形・故障の原因になります。
- 室内に蛍光灯が取付けられている場所には蛍光灯を点灯させ、室内ユニットが信号を受信することを確認してください。室内ユニットが信号を受信すると"ピッ"と音がでます。
  ※電子式点灯方式の蛍光灯（インバーター蛍光灯など）を付けた室内では、信号を受け付けない場合があります。
  ※受光距離は、直線で約 7m程度です。受光範囲は左右約 45°程度です。
- テレビ・ラジオより 1m以上離れた場所から操作してください。
  （画像の乱れや、雑音が生じることがあります。）

4 ペアナンバー設定方法

- ペアナンバー設定とは、ワイヤレスリモコンで操作するユニットを指定するための設定です。

特に指定を必要としない場合は、本設定は不要です。
（工場出荷時は室内ユニット側（受光部側）及びワイヤレスリモコン側のペアナンバーは "0" となっています。）

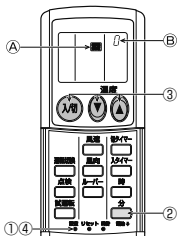
- 指定が必要な場合は、室内ユニット側（受光部側）の設定とワイヤレスリモコン側の設定操作を行い、右表のように合わせます。

ワイヤレスリモコン側ペアナンバー設定	室内ユニット側設定		
	スリムエアコンの場合（スリムKを除く）室内制御基板のジャンパー線（J41、J42）を切断します	マルチエアコンの場合（スリムKを含む）SW22を設定します	
		SW22-3	SW22-4
0	切断せず	ON	ON
1	J41 のみ切断	OFF	ON
2	J42 のみ切断	ON	OFF
3〜9	J41&J42 切断	OFF	OFF

[ワイヤレスリモコンペアナンバー設定操作]

（工場出荷時は "（無し）[No. 0]"）

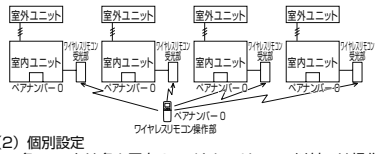
① ポールペンなど先の細いもので（設定）ボタンを押してください。
　Ⓐ 機種 が点滅します。
② 分 ボタンを２回連続押してください。
　Ⓑ ペアナンバーが点滅します。
③ ▼、▲ ボタンを押して、ペアナンバーを設定してください。
　※操作を間違えた場合は、入/切 ボタンを押し、② の操作からやり直してください。
④ ポールペンなど先の細いもので（設定）ボタンを押してください。
　Ⓑ ペアナンバーが３秒間点灯してから消えます。



●設定例

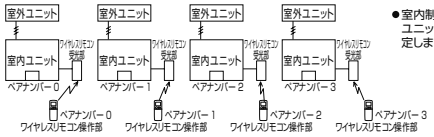
単　独

（1）同一設定
●各ユニットは同一のワイヤレスリモコンで操作できます。



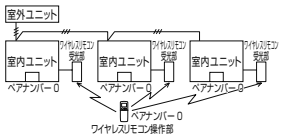
- 室内制御基板とワイヤレスリモコンのペアナンバーは全て同一に設定します。
- 各ユニットはワイヤレスリモコンの受光範囲内に据付けるか、あるいはワイヤレスリモコンの操作者が移動して、ワイヤレスリモコンを操作してください。

（2）個別設定
●各ユニットは各々固有のワイヤレスリモコン以外では操作できません。



- 室内制御基板とワイヤレスリモコンはユニットごと異なるペアナンバーに設定します。

同時ツイン・トリプル・フォー

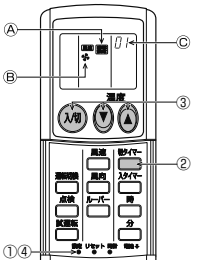


- どの室内ユニットが受信しても運転します。

※図示例は、スリムエアコンのトリプル接続の場合です。マルチエアコンで同様のグループ運転を行う場合には、ペアナンバー設定と室内ユニット間MAリモコン線の渡り配線が必要です。

5 風速自動設定方法

本設定を行うことにより、ワイヤレスリモコンから風速自動が選択可能になります。



（工場出荷時は "（なし）[©設定番号 01]"）

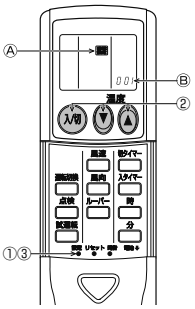
① ポールペンなど先の細いもので（設定）ボタンを押してください。
　Ⓐ 機種設定 が点滅します。
② 切タイマー ボタンを押してください。
　Ⓐ 機種 と Ⓑ "風速" が点滅します。
③ ▼、▲ ボタンを押して、No. を設定してください。

風速自動表示	©設定番号
な　し	01
風速自動モードあり (*)	02

※操作を間違えた場合は、入/切 ボタンを押し、② の操作からやり直してください。

④ ポールペンなど先の細いもので（設定）ボタンを押してください。
　Ⓐ 機種設定 と Ⓑ "風速" が３秒間点灯してから消えます。
* 注：機種によっては "風速自動" 設定がない場合があります。

6 冷暖/冷房専用設定方法



（工場出荷時は機種No."001"）

① ボールペンなど先の細いもので（設定）ボタンを押してください。
　Ⓐ 機理設定 が点滅し、Ⓑ機種設定No. 001 が点灯します。

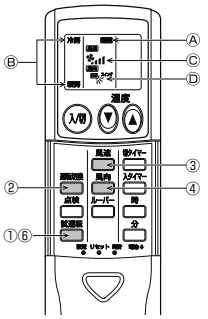
② ▼、▲ボタンを押して、No.を設定してください。

機種No.	
冷 暖 冷房/ドライ/自動/送風/暖房 （冷房/ドライ/送風/暖房）	冷房専用 冷房/ドライ/送風
001（225） 工 場 出荷時	033

※操作を間違えた場合は、入/切 ボタンを押し、② の操作をやり直してください。

③ ボールペンなど先の細いもので（設定）ボタンを押してください。
　Ⓐ 機理設定 と Ⓑ機種設定No.が3秒間点灯してから消えます。

7 試運転方法



① 試運転 ボタンを2回連続で押してください。
　Ⓐ 試運転 および運転内容が点灯し、試運転が開始されます。

② 運転切換 ボタンを押してください。
　Ⓑ 運転モードが切換わります　冷房⇔暖房。
　　冷房:冷風の吹出しを確認してください。
　　暖房:温風の吹出しを確認してください。

③ 風速 ボタンを押してください。
　Ⓒ 風速が切換わります。
　風速が変化することを確認してください。

④ 風向 ボタンを押してください。
　Ⓓ 上下風向表示が切換わります。
　上下ベーンの動作を確認してください。

⑤ 室外ユニットのファンの運転を確認してください。
　室外ユニットは、ファンの回転数をコントロールし能力制御をしています。
　そのため外気の状態によっては、ファンは低速で回り、能力不足にならない限りその回転数を保持します。従って、そのときの外風によりファンが停止又は逆回転となることがありますが、異常ではありません。

⑥ 試運転 ボタンを2回連続で押してください。
　Ⓐ 試運転 および運転内容が消灯し、試運転が終了します。

●試運転は、2時間の 切 タイマーが作動し、2時間後に自動的に停止します。
●同時ツイン/トリプルフォーの場合は、全ての室内ユニットが確実に運転することを確認してください。誤配線等でも異常表示しない場合があります。

8 ユニットの機能選択

本設定は**スリムエアコンの場合**の設定方法です。マルチエアコンの場合は、室内及び室外制御基板上のディップスイッチで設定を行います。
ディップスイッチの設定方法はマルチエアコン（スリムKを含む）の技術資料等を参照してください。

リモコンより必要に応じて各機能を設定します。各ユニットの機能選択はリモコンからのみ設定可能です。
表1より機能選択が必要な項目を選択してください。
なお、ワイヤレスリモコンからはワイヤレス機種が接続された冷媒系統のみ設定可能です。
ワイヤレスリモコンでは冷媒アドレス指定はできません。

表1 機能選択内容**（各室内ユニットの出荷時設定内容、モードについての詳細は室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。）**

【ご注意】
下記は代表的な項目です。機種別に各モード内容が異なる場合がありますので、詳細は室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。

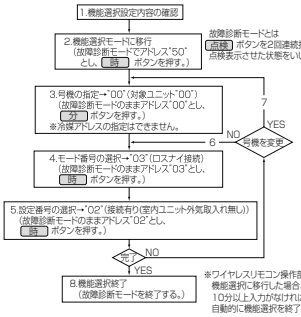
設定項目	設定内容	モード番号	設定番号	チェック欄	対象号機の設定
停電自動復帰	なし	01	01		"00"号機
	あり		02		
室温検知位置	同時運転室内ユニット平均	02	01		
	室内ユニット固定（本設定を受けた室内ユニット室温検知に固定）		02		
ロスナイ接続	接続なし	03	01		
	接続あり（室内ユニット外気取入れなし）		02		
	接続あり（室内ユニット外気取入れあり）		03		
フィルターサイン表示	ファン運転積算100時間	07	01		"01"～"04"号機 ⇒設定したい対象号機No.を指定 または"07" ⇒全号機に対し同じ設定をする場合
	ファン運転積算2500時間		02		
	表示なし		03		
風量	静音（低天井）	08	01		
	標準		02		
	高天井		03		
吹出し口数	4方向	09	01		
	3方向※2		02		
	2方向※2		03		
オプション組込み（高性能フィルター）	なし	10	01		
	あり		02		
上下ベーン設定	第3設定（やや下吹き角度）	11	01		
	第1設定（標準角度）		02		
	第2設定（やや上吹き角度）		03		
ムーブアイ取付位置	取付位置①※1	12	01		
	取付位置②※1		02		
	標準取付位置※1		03		
加湿器組込み	なし	13	01		
	あり		02		

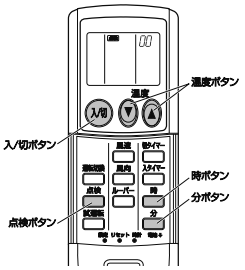
※1 ムーブアイセンサーパネルに同梱の説明書を参照してください。
※2 ドラフトセーブが使用不可になります。

お願い　工事完了後、機能選択により室内ユニットの機能を変更した場合は、必ず全設定内容を表中のチェック欄に○印等で記入してください。

[機能選択の流れ]

まずは機能選択の流れをつかんでください。ここでは、【表1】の"ロスナイ接続"を"接続有り（室内ユニット外気取入れ無し）"の設定を例に説明します。実際の操作については下記操作手順をご覧ください。

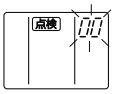




[操作手順]

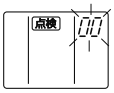
①機能選択の設定内容を確認してください。
　機能選択にて設定内容を変更した場合、そのモードの設定内容が変わります。2～8に従い現在の設定内容を確認し、【表1】のチェック欄に記入の上、設定を変更してください。

②点検 ボタンを2回連続押します。
　（リモコン表示が停止の状態から操作してください。）
　→ 点検 が点灯表示し"00"が点滅表示します。
　▼温度ボタンを1回押して"50"に合わせます。
　ワイヤレスリモコン受光部に向けながら 時 ボタンを押します。



③室内ユニットの号機を合わせます。
　▲、▼温度ボタンを押して室内ユニットの号機に合わせます。
　ワイヤレスリモコン受光部に向けながら 分 ボタンを押します。

（分 ボタンにて号機を入力することにより、確定された室内ユニットが送風運転を開始します。機能選択する号機の室内ユニットがどこにあるのか知りたい場合はこれにより確認してください。なお、号機が"00"～"07"（室内ユニットの据付工事説明書のAL号機と同じ意味付けとなります）"の場合は同一冷媒内の全室内ユニットが送風運転します。）

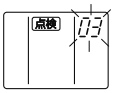


00号機

※設定できない号機を入力した場合は、ブザー音"ピーピーピー（0.4秒+0.4秒+0.4秒）"が出力（ブザー音のみ出力）されます。この場合は、再度号機を入力し直してください。

※正常に受信できなかった場合（ブザー音出力せず、ブザー音"ピピッ"出力）は、再度号機を入力し直してください。

④モード番号の選択
　▲、▼温度ボタンを押して設定したいモード番号に合わせます。
　ワイヤレスリモコン受光部に向けながら 時 ボタンを押します。
　→このとき、ブザー断続音と運転ランプ点滅により、選択したモード番号に対する現在設定値を出力します。
　　出力は現在設定値=1→ピー（1秒）×1回
　　2→ピー（1秒）×2回
　　3→ピー（1秒）×3回



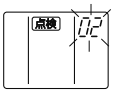
モード番号 03　ロスナイ接続

※設定できないモードを入力した場合は、ブザー音"ピーピーピー（0.4秒+0.4秒+0.4秒）"が出力（ブザー音のみ出力）されます。この場合は、再度モード番号を入力し直してください。

※正常に受信できなかった場合（ブザー音出力せず、またはブザー音"ピピッ"出力）は、再度モード番号を入力し直してください。

⑤選択したモードの設定番号を入力します。
　▲、▼温度ボタンを押して設定番号を選択します。
　ワイヤレスリモコン受光部に向けながら 時 ボタンを押します。
　→このとき、ブザー断続音と運転ランプ点滅により、選択したモード番号に対する設定番号を出力します。

　　設定番号=1→ピーピー（0.4秒+0.4秒）×1回
　　2→ピーピー（0.4秒+0.4秒）×2回
　　3→ピーピー（0.4秒+0.4秒）×3回



設定番号 02　接続有り
（室内ユニット外気取入れ無し）

※設定できない番号を入力した場合は、元々設定されていた番号に設定されます。

※正常に受信できなかった場合（ブザー音出力せず、またはブザー音"ピピッ"出力）は、再度設定番号を入力し直してください。

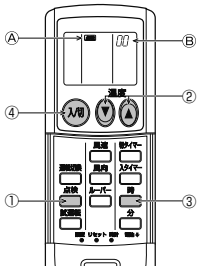
⑥室内ユニットの号機を変更せずに、更に他のモードを設定する場合は④、⑤を繰り返してください。

⑦室内ユニットの号機を変更して、機能選択を行う場合は③～⑤を繰り返してください。

⑧機能選択を終了します。入/切 ボタンを押します。
　機能選択終了後、30秒間はワイヤレスリモコンより操作しないでください。

【お願い】
工事完了後、機能選択により室内ユニット機能を変更した場合は、必ずすべての設定内容を表1のチェック欄に○印等で記入してください。

9 自己診断



① 点検 ボタンを2回連続で押してください。
　Ⓐ 点検 が点灯し、Ⓑ 冷媒アドレス（M-NETアドレス）が点滅します。
　※アドレス表示は、スリムエアコンの場合は冷媒アドレス、
　　マルチエアコンの場合はM-NETアドレスとなります。

② ▼、▲ボタンを押して、自己診断を行う室内ユニットの冷媒アドレス（M-NETアドレス）にⒷの表示を合わせてください。
　※冷媒アドレスの設定は室外ユニットのスイッチ（SW1）にて行います。
　詳細は室外ユニットの据付工事説明書をご覧ください。

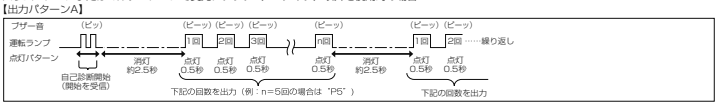
③ 時 ボタンを押してください。
　異常がある場合、室内ユニットからブザーの断続音、運転ランプの点滅により、点検コードを出力します。

④ 入/切 ボタンを押してください。
　Ⓐ 点検 と Ⓑ 冷媒アドレス（M-NETアドレス）が消灯し、自己診断モードが終了します。

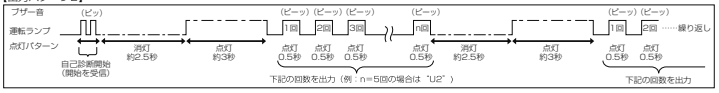
●点検コードの出力内容は下記をご覧ください。

スリムエアコンまたはマルチエアコンで受光アダプタ（MAタイプ）以外を使用時の場合

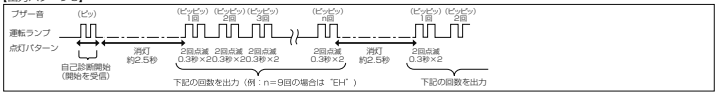
【出力パターンA】



【出力パターンB】



【出力パターンC】



●スリムエアコン（スリムKは除く）の出力内容

【出力パターンA】室内ユニットが検出する異常

ブザー音 回数 運転ランプ回数	点検コード	不具合内容	備考
1回	P1	吸込センサー異常	
2回	P2, P9	配管（液管または二相管）センサー異常	
3回	E6, E7	室内ユニット一室内ユニット間の通信異常	
4回	P4	ドレンセンサー異常、ドレンフロートスイッチコネクタ外れ	
5回	P5	ドレンオーバーフロー保護作動	
6回	P6	凍結保護作動（冷房時）/過昇保護作動（暖房時）	
7回	EE	組み合わせ異常（システム異常）	
8回	P8	配管温度異常	
9回	E4	ワイヤードリモコン一室内ユニット間の通信異常	
10回	ー	ー	
11回	PB（Pb）	室内ファンモータ異常	
12回	Fb	室内制御系異常（メモリー異常、その他）	
14回	PL	冷媒回路異常	

【出力パターンB】室内ユニット以外（室外ユニット、その他）が検出する異常

ブザー音 回数 運転ランプ回数	点検コード	不具合内容	備考
1回	E9	室内ユニット一室外ユニット間の通信異常	詳細は室外基板のLED表示を確認ください。
2回	UP	過電流遮断	
3回	U3, U4	室外サーミスター系異常	
4回	UF	圧縮機過電流遮断（ロック）異常	
5回	U2	吐出温度異常/49C作動/冷媒不足異常	
6回	U1, Ud	高圧圧力異常（63H作動）/過昇保護（過負荷運転保護/送風機異常）	
7回	U5	放熱板温度異常	
8回	U8	室外ファン保護停止	
9回	U6	圧縮機過電流遮断（過負荷）/パワーモジュール異常	
10回	U7	低吐出スーパーヒート異常	
11回	U9, UH	電圧異常/電流センサー異常	
12回	ー	ー	
13回	ー	ー	
14回	その他	その他異常（室外基板LEDを確認ください）	

【出力パターンC】室内ユニットの別売部品関連の異常

ブザー音 回数 運転ランプ回数	点検コード	不具合内容	備考
1回	PF	ダストボックス外れ検出、フィルタ位置異常、中継コネクタ外れ（フィルタ自動清掃ユニット）	
2回	PH	オゾン出力回路異常（フィルタ自動清掃ユニット）	
9回	EH	パネル通信異常（フィルタ自動昇降/自動清掃ユニット）	

●マルチエアコン（スリムKを含む）の出力内容

【出力パターンA】異常ユニット（属性）が室内ユニット/ロスナイ/外気処理ユニットの場合
【出力パターンB】異常ユニット（属性）が室内ユニット/ロスナイ/外気処理ユニット以外（室外ユニット、その他）の場合

ブザー音 回数 運転ランプ回数	M-NET 点検コード	備考
1回	1000～1999	ワイヤードリモコン、システムコントローラを併用されていない場合、異常履歴の点検コード詳細は、室外基板のLED表示にて確認することができます。 室外ユニットの異常履歴確認方法は、室外ユニットのサービスハンドブックを参照ください。
2回	2000～2999	
3回	3000～3999	
4回	4000～4999	
5回	5000～5999	
6回	6000～6999	
7回	7000～7999	
8回	0～999	

※1. 自己診断開始の受信出力のみで、以後ブザー音なし、運転ランプ消灯のままの場合は、異常履歴はありません。
※2. 自己診断開始の受信出力後、ブザー音のみが連続3回出力"ピーピーピー（0.4秒+0.4秒+0.4秒）"の場合は、冷媒アドレス（M-NETアドレス）の指定が間違っています。

RG79Y706H01
三菱電機株式会社 静岡製作所 〒422-8528 静岡市駿河区小鹿 3-18-1 ☎(054)285-1111(代表)